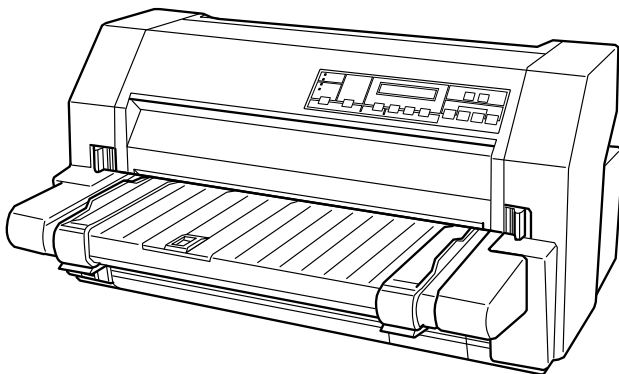
VP-6200
取扱説明書
セットアップと使い方の概要編

- プリンタを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

2013 年 2 月発行
Printed in XXXXX

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	単票紙 /CSF1 または 単票紙 /CSF2	手差し （単票）
単票紙をカットシートフィーダー1 から給紙する	単票紙 /CSF1	カットシート フィーダ 1 （CSF1）
単票紙をカットシートフィーダー2 から給紙する	単票紙 /CSF2	カットシート フィーダ 2 （CSF2）
連続紙をリアプッシュトラクタから給紙する	連続紙	リアプッシュ トラクタ （連続紙リア）

- 操作パネルの表記“CSF”は、カットシートフィーダー（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
- ( )表記は、EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 の表記です。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、iMac、PowerBook、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、漢字Talk、TrueType、ColorSync は Apple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
分解禁止を示しています。	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
アース接続して使用することを示しています。	特定の場所に触れることの禁止を示しています。

設置に関するご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は２人以上で運んでください。

本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。
滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

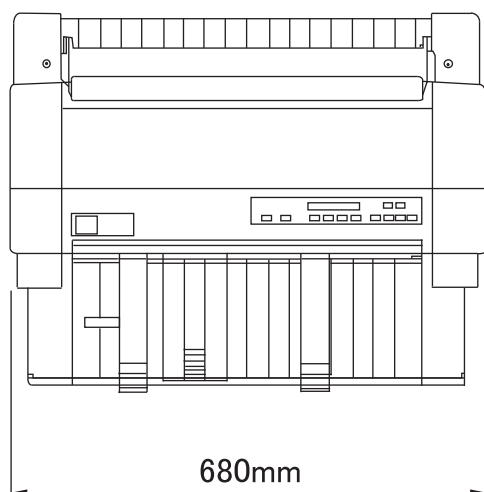
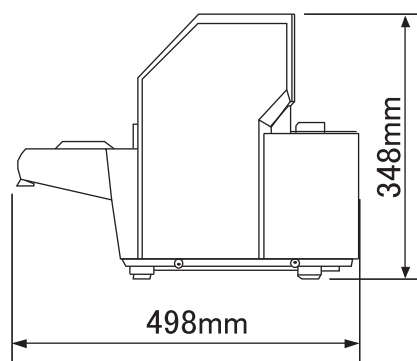
!注意 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

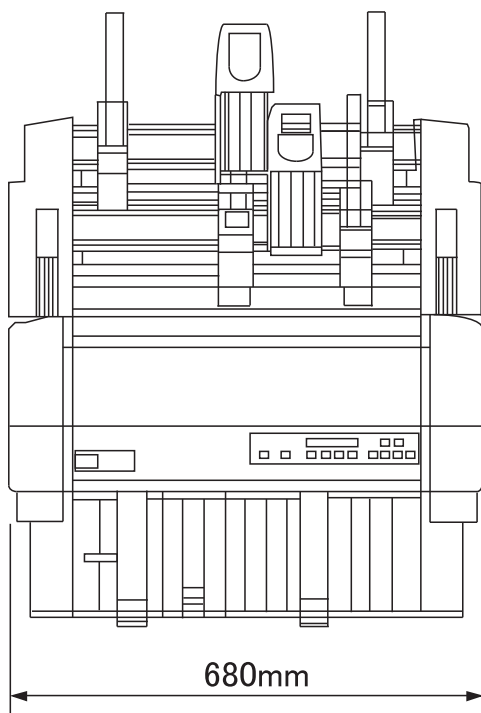
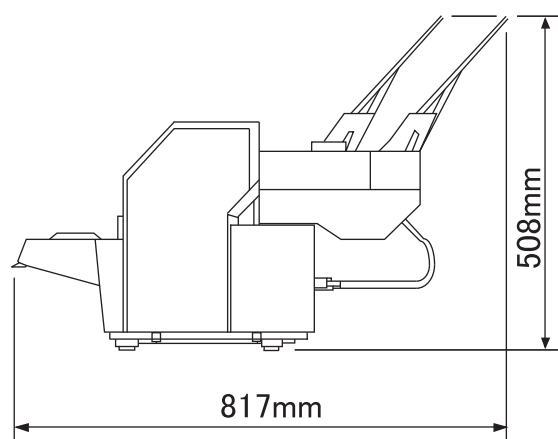
- 本製品を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 本製品をプリンタ台に設定する場合は、本体重量（30.5kg）に耐えられるプリンタ台に設定してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

上面図

680mm

側面図

498mm

プリンタカバーを開いたときの高さは 510mm となります

カットシートフィーダー（オプション）装着時

上面図

プリンタカバーを開いたときの高さは 510mm となります

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの • 接地工事（D 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。
次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

操作パネルの液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

⚠注意	
電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。	**インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。** • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

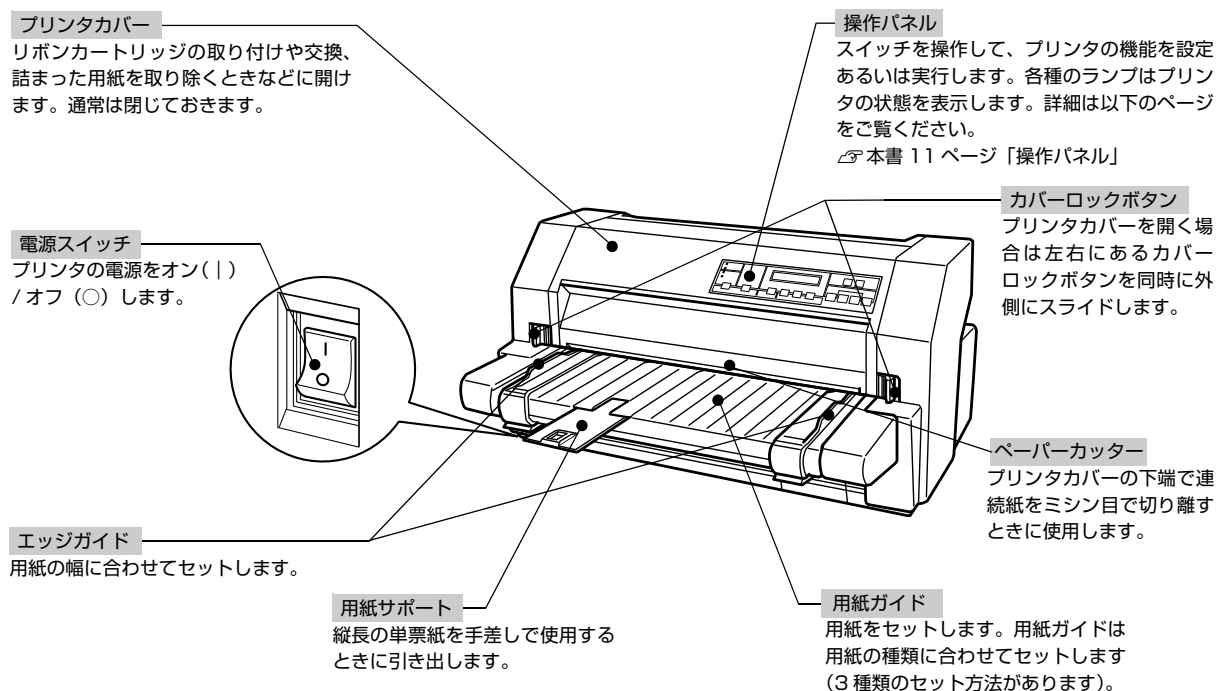
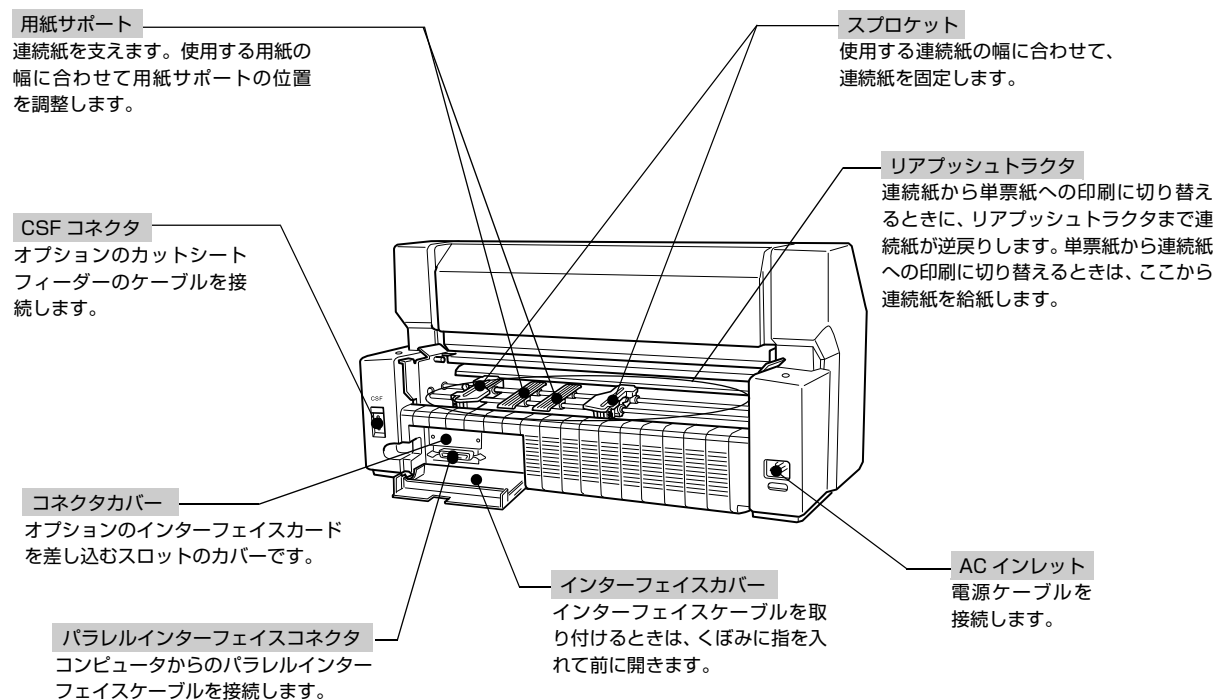
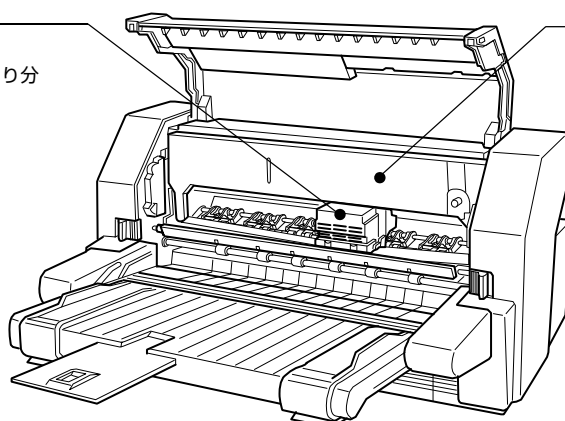
さらに以下の点も注意してください。

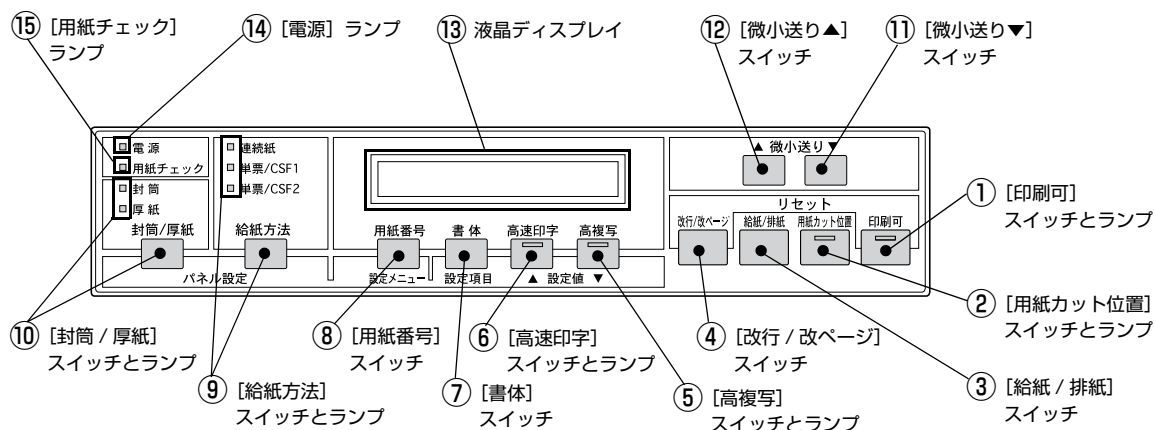
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

背面

内部

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンタの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　□：点灯　■：消灯　点滅記号：点滅

①［印刷可］スイッチとランプ（緑）

ランプ	設定値 / 状態	スイッチの動作
□	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でスイッチを押すと待機に変わります。
■	待機	印刷できない状態です。待機状態でスイッチを押すと印刷可に変わります。
	エラー停止 *	エラー状態です。液晶ディスプレイのメッセージに従って対応してください。 対策後に、スイッチを押すと印刷可状態に変わります。
点滅	ヘッドホット *	プリントヘッドが高温になり印刷を停止しています。液晶ディスプレイに「シバラクオマチクダサイ」と表示されます。ランプが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
―	リセット	［印刷可］スイッチと［改行 / 改ページ］スイッチを同時に押すとプリンタをリセットします。

*：この状態では［印刷可］スイッチを押して印刷可にすることはできません。

!注意　［印刷可］ランプが点滅しているときは、プリントヘッドが高温で印刷できません。点滅が点灯に変わるまでお待ちください。ランプの点滅が止まってもプリントヘッドは高温になっています。しばらく触らないでください。

②[用紙カット位置]スイッチとランプ(緑)

連続紙のティアオフ機能で使用します。

動作の選択	ランプ	液晶ディスプレイ	概要
用紙カット位置へ送る	□	ヨウシヲ　キリハナシテクダサイ	印刷後にスイッチを押すと連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。
給紙位置へ戻す	■	ー	連続紙をミシン目で切り離し、スイッチを押すと連続紙は給紙位置まで戻ります。ランプと液晶ディスプレイの表示は消えます。

③[給紙 / 排紙]スイッチ

動作の選択	概要
給紙する	給紙されていない状態でスイッチを押します。用紙は給紙位置へ送られます。用紙は［給紙方法］ランプの表示に従ってリアプッシュトラクタまたはオプションのカットシートフィーダーから給紙されます。
排紙する	スイッチを押すと、給紙されている用紙を排紙します。単票用紙は、用紙ガイドに排出されます。連続紙は、リアプッシュトラクタへ戻されます。排紙動作後に給紙経路に用紙がセットされていない場合は、［用紙チェック］ランプが点灯します *。

*：［用紙チェック］ランプが点灯した場合は、［印刷可］スイッチを押してください。

④[改行 / 改ページ]スイッチ

動作の選択	概要
改行する	スイッチを短く押します。給紙されている用紙を改行します。
改ページする	スイッチを押し続けます。給紙されている用紙は用紙長の設定値に従って改ページされます。
給紙する	給紙されていない状態でスイッチを押します。用紙は給紙位置へ送られます。用紙は［給紙方法］ランプの表示に従ってリアプッシュトラクタまたはオプションのカットシートフィーダーから給紙されます。
リセット	［印刷可］スイッチと［改行 / 改ページ］スイッチを同時に押すと、プリンタをリセットします。

⑤[高複写]スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値	概要
■	通常	通常設定する状態です。スイッチを押すと高複写に変わります。
□	高複写	濃い複写印刷を行います *。6枚以上の複写紙を使用する場合に設定します。コピー濃度は高くなりますが、印字速度は半減します。スイッチを押すと通常に変わります。
ー	［設定値▼］スイッチ	パネル設定モードでは、［設定値▼］スイッチとして動作します。

*：高複写の設定は、用紙番号が「0」のときに設定することができます。用紙番号が「1」から「8」の場合は操作することができません。

⑥[高速印字]スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値	概要
■	通常印字	通常設定する状態です。スイッチを押すと高速印字に変わります。
□	高速印字	文字パターンのドットを間引きして、通常印字の約2倍の高速で印字 * します。スイッチを押すと通常に変わります。
ー	［設定値▲］スイッチ	パネル設定モードでは、［設定値▲］スイッチとして動作します。

*：Windows 環境下で高速印字をするには、さらにプリンタドライバの［印刷品質］を［ドラフト］に設定する必要があります。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」－「設定項目」

⑦[書体]スイッチ

印刷するプリンタ内蔵書体を選択します。

表示	設定値	概要
ジドウ	自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンタの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します *。アプリケーションソフトから選択できないときは明朝体で印刷します。スイッチを押すとミンチョウに変わります。
ミンチョウ	明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。スイッチを押すとゴシックに変わります。
ゴシック	ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はエプソンサンセリフで印刷します。スイッチを押すとジドウに変わります。
ー	［設定項目］スイッチ	パネル設定モードでは、［設定項目］スイッチとして動作します。

*：書体の設定は用紙番号「0」～「8」でも設定することができます。

書体の設定は、プリンタの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体(TrueType フォントなど)を指定できるときは、このスイッチの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。

プリンタ内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

（漢字モード）

、 。 ， ． ・ ： ；
… ‥ ‘ ’ “ ” （ ）
∞ ∴ ♂ ♀ ° ′ ″ ℃
↑ ↓ ＝ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯ 0
S T U V W X Y Z

（英数カナ文字モード）

!"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;

⑧[用紙番号]スイッチ

表示	設定値	概要
No.0 ～ 8	用紙番号 0 ～ 8	プリンタに登録されている用紙を選択します。
ー	［設定メニュー］スイッチ	パネル設定モードでは、［設定メニュー］スイッチとして動作します。

⑨[給紙方法]スイッチとランプ

表示	設定値	概要
連続紙：□	連続紙	リアプッシュトラクタにセットされている連続紙の使用が可能となります。用紙番号表示が「0」の場合[*1]にスイッチを押すと次の設定値の単票 /CSF1 に設定されます。
単票 /CSF1：□	単票 /CSF1	用紙ガイドまたは CSF1 にセットされている単票用紙の使用が可能となります。用紙番号表示が「0」の場合[*1]にスイッチを押すと次の設定値の単票 /CSF2[*2]に設定されます。
単票 /CSF2：□	単票 /CSF2	カットシートフィーダーが装着されている場合に選択することができます。用紙ガイドまたは CSF2 にセットされている単票用紙の使用が可能となります。 用紙番号表示が「0」の場合[*1]にスイッチを押すと次の設定値の連続紙が設定されます。
ー	［パネル設定］スイッチ	［給紙方法］スイッチと［封筒 / 厚紙］スイッチを同時に押したときにパネル設定モードに入ります。パネル設定モードを終了する場合にも［給紙方法］スイッチと［封筒 / 厚紙］スイッチを同時に押します。

*1：用紙番号表示が「1」～「8」の場合は［給紙方法］スイッチは操作できません。給紙方法を変更する場合は、用紙番号を「0」に設定します。

*2：カットシートフィーダーが装着されていない場合は、連続紙に設定されます。

⑩[封筒 / 厚紙]スイッチとランプ

表示	設定値	概要
封筒：■ 厚紙：■	通常	通常の単票用紙、単票複写紙、連続紙、連続複写紙を使用するときに設定します。スイッチを押すと、単票用紙を選択している場合は封筒に変わり、連続紙を選択している場合は厚紙に変わります。
封筒：□ 厚紙：■	封筒	封筒を使用するときに設定します。スイッチを押すと厚紙に変わります。
封筒：■ 厚紙：□	厚紙	ハガキ、厚紙（連量 90kg 以上）を使用するときに設定します。スイッチを押すと通常に変わります。
ー	［パネル設定］スイッチ	［給紙方法］スイッチと［封筒 / 厚紙］スイッチを同時に押したときにパネル設定モードに入ります。パネル設定モードを終了する場合にも［給紙方法］スイッチと［封筒 / 厚紙］スイッチを同時に押します。

*：用紙番号表示が「1」～「8」の場合は［封筒 / 厚紙］スイッチは操作できません。［封筒 / 厚紙］スイッチを使用する場合は、用紙番号を「0」に設定します。

⑪[微小送り▼]スイッチ / ⑫[微小送り▲]スイッチ

動作の選択	概要
順方向へ微小送り	［微小送り▼］スイッチを押すと、用紙ガイド側へ 1/180 インチ（0.14mm）単位で紙送りします。
逆方向へ微小送り	［微小送り▲］スイッチを押すと、リアプッシュトラクタ側へ 1/180 インチ（0.14mm）単位で紙送りします。

連続紙が用紙カット位置にあるときは、用紙カット位置の微調整ができます。［用紙カット］ランプが点灯していることを確認し、［微小送り］スイッチを押してください。調整された用紙カット位置はプリンタに記憶されます。

用紙が詰まったときは、一旦電源を切り、詰まっている用紙を引き抜きます。用紙がプリンタ内に残ったときは、電源を切り、［微小送り］スイッチを押して残った用紙を取り除きます。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙カット位置の微調整（微小送り）」

⑬液晶ディスプレイ

プリンタの状態を示すメッセージを表示します。表示するメッセージについては以下のページを参照してください。

☞ 本書 16 ページ「ランプと液晶ディスプレイ表示によるプリンタ状態」

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「液晶ディスプレイのメッセージ」

⑭[電源]ランプ(緑)

ランプ	概要
□	電源が入っている状態。
■	電源が切れている状態。

⑮[用紙チェック]ランプ(赤)

ランプ	液晶ディスプレイ	概要
□	ヨウシガ　アリマセン	給紙時の用紙がない状態。
□	ヨウシガ　ツマリマシタ	用紙詰まりの状態。

ランプと液晶ディスプレイ表示によるプリンタ状態

□：点灯　凵：点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

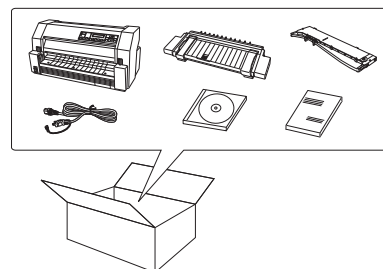
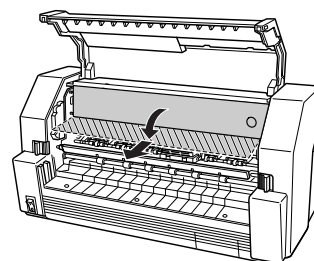
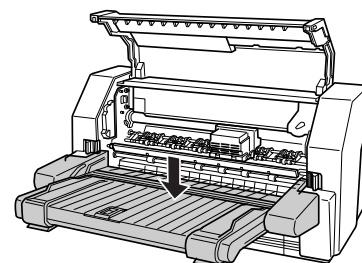
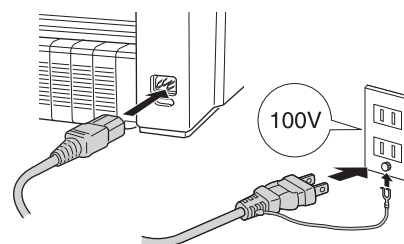
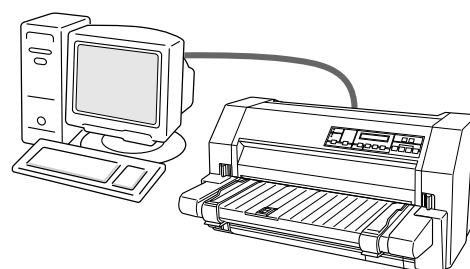
パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	液晶ディスプレイ表示	対処方法
□［印刷可］ランプ	ー	インサツカノウ	ー
	ー	インサツチュウ	ー
	ー	ヘキサダンプ	『取扱説明書　詳細編』（PDF　マニュアル）ー「プリンタ設定値の変更」ー「16 進ダンプ印刷」
	ー	データガ　ノコッテイマス	プリンタのバッファにデータがあります。給紙してください。
□［用紙チェック］ランプ	•••	ヨウシガ　アリマセン	用紙切れです。用紙をセットしてください。
	•••	カタムイテ　キュウシシマシタ	用紙が傾いて給紙されました。エッジガイドを用紙に合わせて用紙をまっすぐに給紙してください。封筒（長形・角形）を使用している場合は、以下のページを参照してください。 本書 37 ページ「封筒、ハガキ」
	•••	キュウシデキマセン	給紙できません。用紙をセットし直してください。再度メッセージが表示される場合は、用紙が仕様に合っているか確認してください。 本書 31 ページ「印刷できる用紙」
	ー	セルフテスト	本書 26 ページ「7. 動作の確認」
凵［用紙チェック］ランプ	•••	ハイシデキマセン	排紙できません。印刷済みの連続紙をミシン目で切り離し、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙してください。 ラベル紙を排紙する場合は、リアプッシュトラクタの前のミシン目でラベル紙を切り離し、［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。
	•••••	ヨウシガ　ツマリマシタ	以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。 本書 41 ページ「用紙が詰まったときは」
凵［印刷可］ランプ	ー	シバラクオマチクダサイ	ヘッドホットの状態です。 ［印刷可］ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	液晶ディスプレイ表示 対処方法
ー	ー	インサツ　テイシ
		［印刷可］スイッチを押し、［印刷可］ランプを点灯させてください。
	●●●	カバーガ　アイテイマス
		プリンタカバーを確実に閉じます。［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。
	●●●	ヨウシガアリ　キリカエテイシ：＃ n
		印刷済みの用紙があり、用紙を切り替えることができません。印刷済みの連続紙はミシン目で切り離し、［印刷可］スイッチを押してください。連続紙はリアプッシュトラクタまで逆送りされます。プリンタ内に単票紙が残っている場合は、［電源］スイッチを切ってから引き抜いてください。 ラベル紙をお使いの場合は、［電源］スイッチを切り、リアプッシュトラクタの前のミシン目でラベル紙を切り離してください。プリンタ内にラベル紙が残っている場合は、スプロケットカバーを開いてから引き抜いてください。
	●●●	ヨウシガチガイマス：＃ n
		給紙装置にセットされている用紙が、［用紙番号］で登録されている用紙と異なります。登録されている用紙の情報を確認して、給紙装置に正しい用紙をセットしてください。
	●●●	ヨウシハバガ　チガイマス
		給紙された用紙の幅が、［用紙番号］で登録されている用紙の幅と異なります。用紙を排紙して、正しい幅の用紙を使用してください。
	●●● （繰り返し）	ヨウシヲ　トリノゾイテクダサイ
		［給紙方法］が［連続紙］を選択している場合に、単票紙を給紙しようとしました。給紙中の単票紙を取り除いてください。
すべてのランプ （［電源］ランプを除く）	●●●●●	デンゲンヲ　キッテクダサイ
		プリンタの電源を切って、約 5 秒後にプリンタの電源を入れてください。再度メッセージが表示される場合は、点検の必要なトラブルが発生しています。お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は本書裏表紙をご覧ください。
□［用紙カット位置］ランプ	ー	ヨウシヲ　キリハナシテクダサイ
		連続紙のミシン目が用紙カット位置にあります。ミシン目で切り離してください。

プリンタのセットアップ

プリンタを箱から取り出し、プリンタが使用できるようにセットアップします。

セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

6 リボンカートリッジの取り付け

☞25 ページ

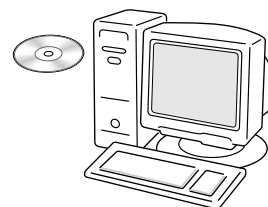
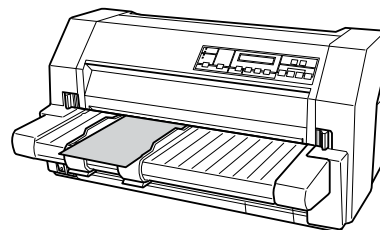
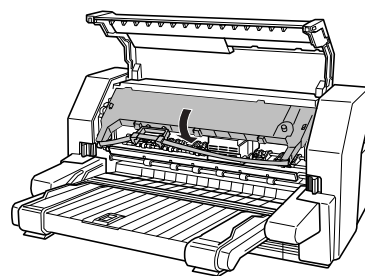
7 動作の確認

☞26 ページ

プリンタが問題なく使用できるかどうかを確認します。

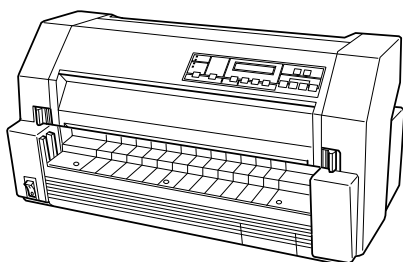
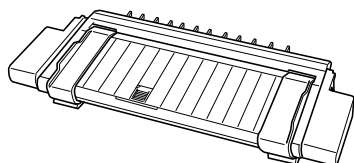
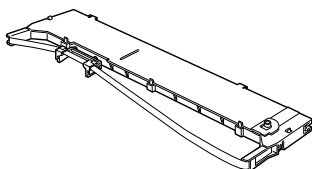
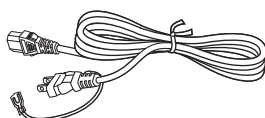
8 プリンタドライバのインストール

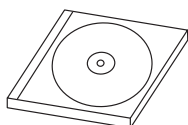
☞28 ページ

Windows で使用するには、同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバやユーティリティソフトなどをコンピュータにインストールする必要があります。

1. 同梱物の確認

次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❏ プリンタ本体

❏ 用紙ガイド

❏ リボンカートリッジ

❏ 電源ケーブル

❏ VP-6200 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）

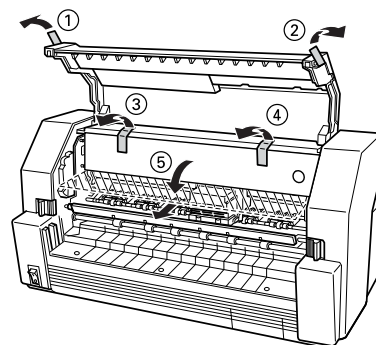
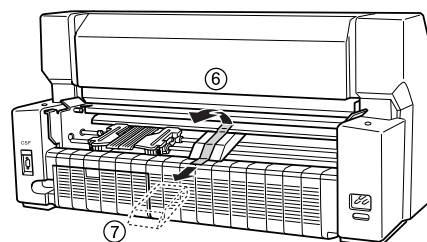
❏ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM

•プリンタドライバ
•EPSON プリンタウィンドウ !2
•EPSON ステータスモニタ 3
•VP-6200 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンタ輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンタに取り付けられています。

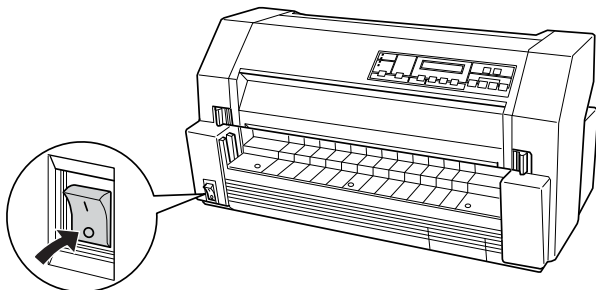
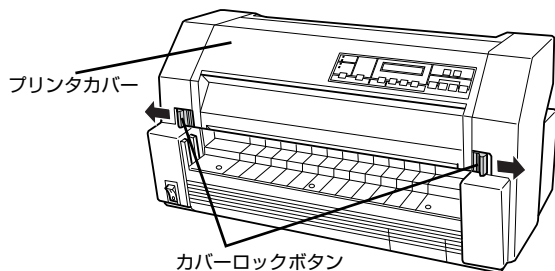
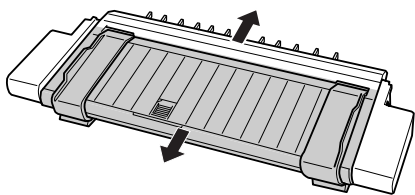
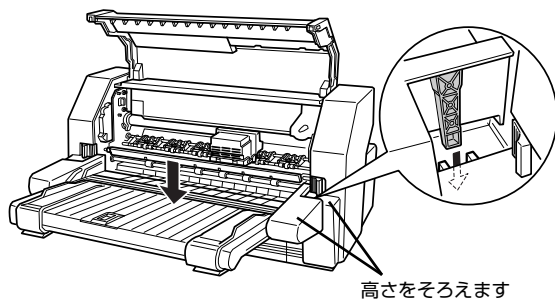
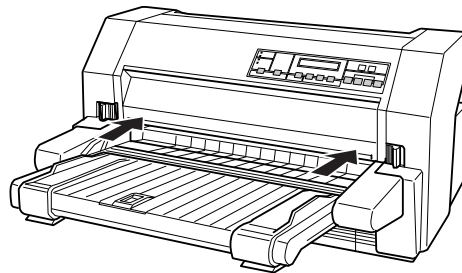
以下の保護材を取り外してください。

1 **プリンタカバーを開けてテープ（① ② ③ ④）をはがし、保護材（⑤）を取り外します。**

2 **プリンタ背面のテープ（⑥）をはがし、保護材（⑦）を取り外します。**

! 注意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンタの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

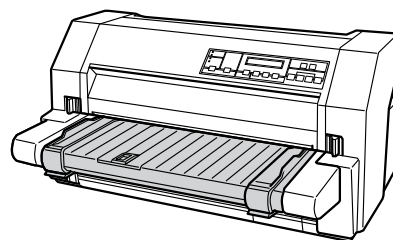
3. 用紙ガイドの取り付け

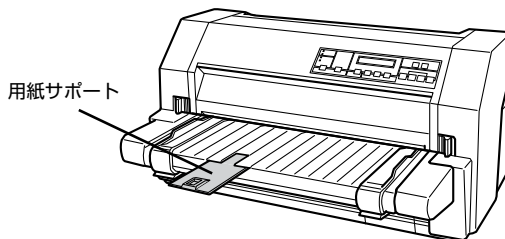
同梱されている用紙ガイドをプリンタに取り付けます。

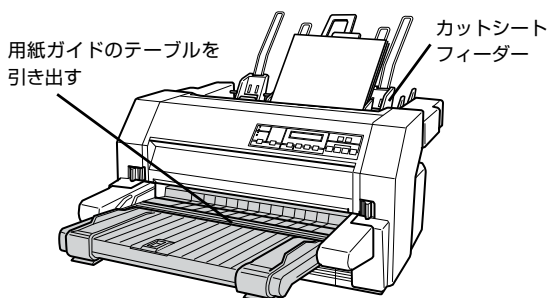
1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンタカバーを開けます。**
左右のカバーロックボタンを外側にスライドさせて、プリンタカバーを開けます。

3 **用紙ガイドのテーブルを引き出します。**
用紙ガイドは出荷時にはテーブルを押し込んだ状態になっています。テーブルの前部と用紙ガイドの後部とを別々に持って、テーブルを前に引き出します。

4 **用紙ガイドを取り付けます。**
用紙ガイドの左右にある突起をプリンタ両側の溝に合わせ、上からしっかり押し込みます。

5 **プリンタカバーを閉じます。**
プリンタカバーを閉じ、カチッと音がするまで押し込みます。

用紙ガイドの使い方

用紙ガイドのテーブルは、お使いになる用紙の種類に合わせてセットします。

手差し給紙または連続紙を使用する場合

用紙ガイドのテーブルを押し込んだ状態にセットします。テーブルが引き出されているときは、奥に押し込みます。

用紙ガイドからはみ出す単票用紙を手差し給紙する場合

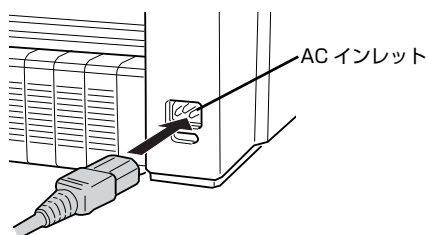
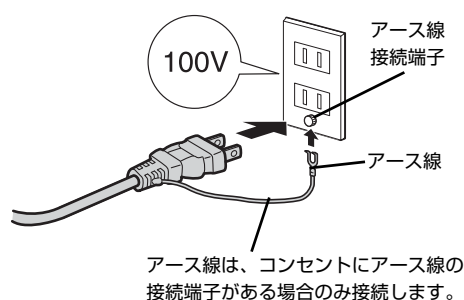
用紙ガイドのテーブルを押し込んだ状態で、用紙サポートを手前に引き出します。

カットシートフィーダー(オプション)から給紙する場合

用紙ガイドのテーブルを引き出した状態にセットします。テーブルが押し込まれているときは、テーブルの手前を持って前に引き出します。

4. 電源接続

電源コードを電源コンセントに接続します。

⚠注意
「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 プリンタ背面の AC インレットに電源ケーブルを差し込みます。

3 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。

参考
漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

!注意
- 電源プラグをコンピュータ背面のコンセントに接続しないでください。
- 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

5. コンピュータとの接続

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続するか、オプションのインターフェイスカードを使用して Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

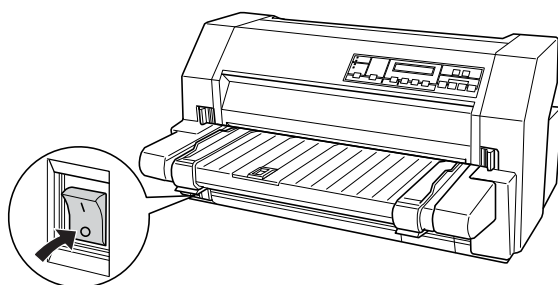
参考
お使いのコンピュータや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。

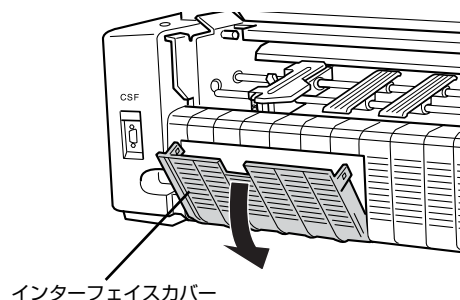
ローカル接続

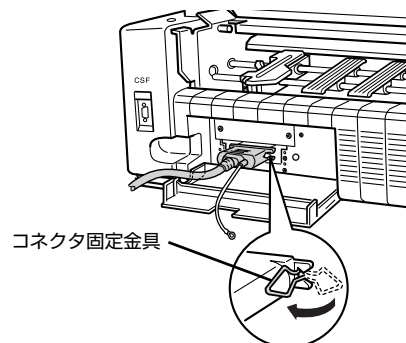
コンピュータをローカル接続する場合は、パラレルインターフェイスケーブルをご用意ください。

ケーブル	機種	型番
パラレル インターフェイス	DOS/V 仕様機	PRCB4N

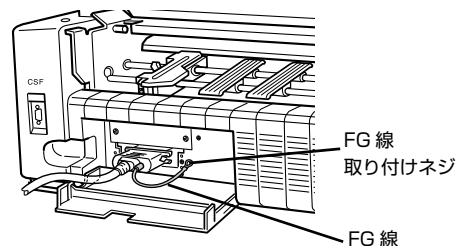
!注 意
- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

2 プリンタ背面のインターフェイスカバーを開きます。

インターフェイスカバーのくぼみに指を入れて前に開きます。

3 インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。

インターフェイスケーブルをプリンタのインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ固定金具を内側に起こして固定します。

4 FG 線* を接続します。

インターフェイスケーブルに FG 線（グランド線）が付いているときは、コネクタの横にある FG 線取り付けネジを使って接続します。

* FG（グランド）線：ノイズによる誤動作を防止するための接続線

5 インターフェイスカバーを閉じます。

インターフェイスケーブルをくぼみに通すようにして、インターフェイスカバーを閉じます。

6 もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

インターフェイスケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。

以上でコンピュータとの接続は終了です。コンピュータ側の接続については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続するには、オプションのインターフェイスカードが必要です。インターフェイスカードの取り付けはPDFマニュアルの以下のページを参照して行ってください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

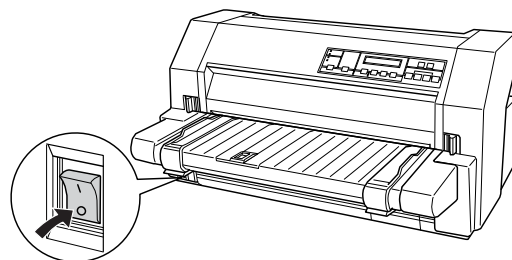
型番	名称	解説
PRIFNW7	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコル ネットワーク I/F カード	本製品をEthernetでネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には、Ethernet ツイストペアケーブル（カテゴリー５ 以上）が別途必要です。 ネットワーク上の設定については、インターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

参考

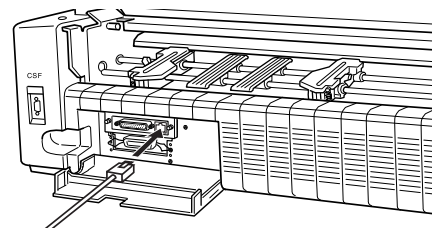
- オプションのインターフェイスカードを使用するときは、自動インターフェイス選択機能により使用するインターフェイスを自動的に選択できます。インターフェイス選択機能については、以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。オプションは必要ありません。
  プリンタ共有については、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDFマニュアル）－「Windowsからの印刷」－「プリンタの共有」

！注意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチングHUBでは正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間に自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 **プリンタの電源が切れていることを確認します。**

2 **オプションのインターフェイスカードを装着してから Ethernet ケーブルを接続します。**

オプションのインターフェイスカードの装着方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「インターフェイスカード」－「取り付け方」

3 **ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。**

コンピュータへのケーブルの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

以上でコンピュータとの接続は終了です。

インターフェイスカードの設定方法については、お使いのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

6. リボンカートリッジの取り付け

同梱されているリボンカートリッジをプリンタに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

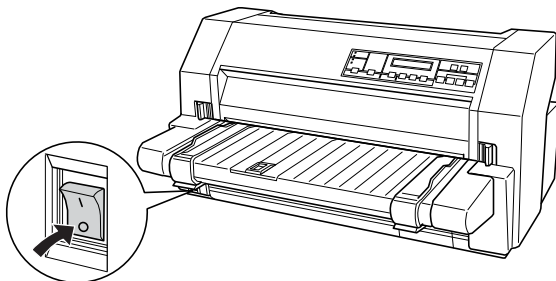
1 プリントヘッドが中央のリボンカートリッジ交換位置にあることを確認します。

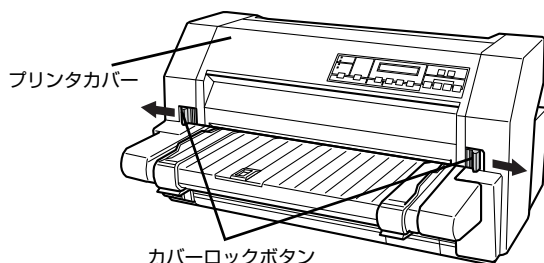
購入時にはプリントヘッドはリボンカートリッジ交換位置にあり、移動する必要はありません。

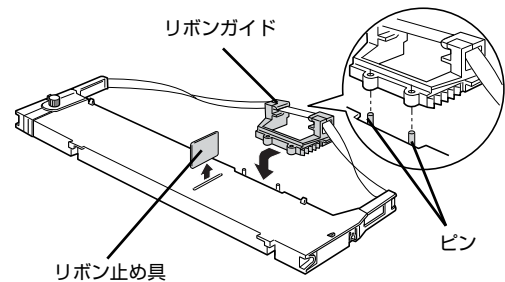
リボンカートリッジを交換する場合に、プリントヘッドが端にあるときはプリントヘッドをリボンカートリッジ交換位置（◀マークと▶マークの間）に移動する必要があります。プリンタカバーを閉じてプリンタの電源を入れ、プリントヘッドが中央のリボンカートリッジ交換位置へ移動して停止するまでお待ちください。

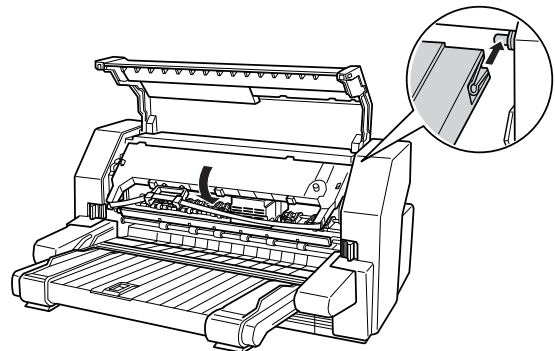
> **！注 意**
> 電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

2 プリンタの電源が切れていることを確認します。

電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

3 プリンタカバーを開けます。

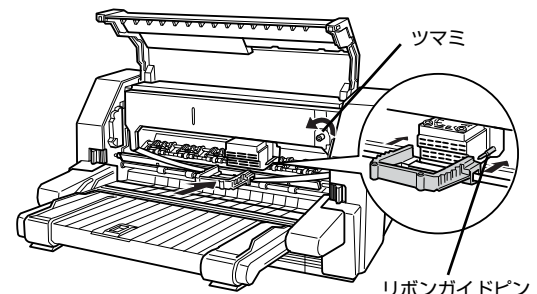
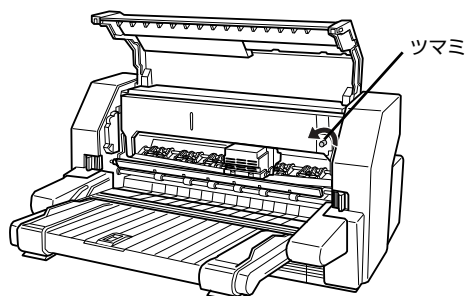
左右のカバーロックボタンを外側にスライドさせて、プリンタカバーを開けます。

4 リボンカートリッジのリボン止め具を取り除きます。

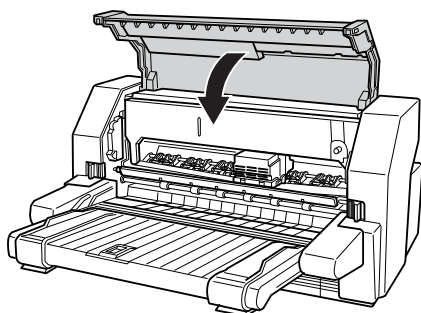
リボンガイドをリボンカートリッジのピンにはめ込みます。

5 リボンカートリッジをプリンタに取り付けます。

プリンタ両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

6 リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドをリボンカートリッジから外し、プリントヘッドの前へ移動します。

リボンカートリッジのツマミを回してリボンをピンと張ります。リボンガイドをプリントヘッド両側のリボンガイドピンに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

7 **リボンのたるみを取ります。**
リボンカートリッジのツマミを矢印の方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンにねじれや折れ曲がりがなく、自由に動くのを確認してください。

!注意
リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。たるんだリボンカートリッジに絡み、リボンが切れたりプリントヘッドが損傷することがあります。リボンはまっすぐで平らな状態でお使いください。

8 **プリンタカバーを閉じます。**
プリンタカバーを閉じ、カチッと音がするまで押し込みます。

!注意
プリンタカバーが開いていたり、浮いていると、ブザーが鳴り安全装置が働いて印刷ができません。

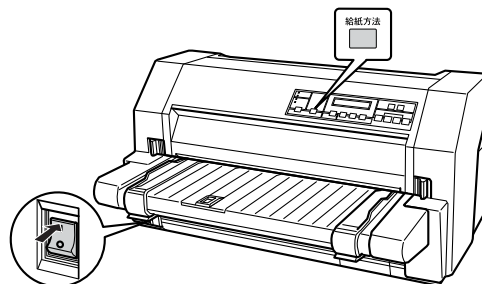
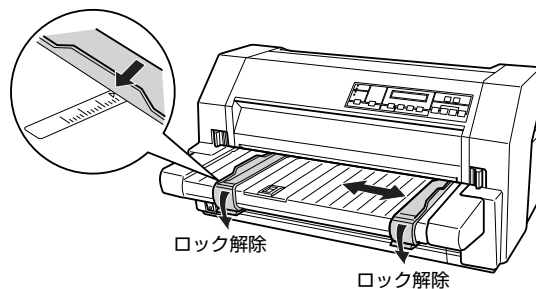
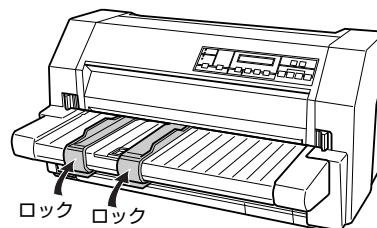
以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。

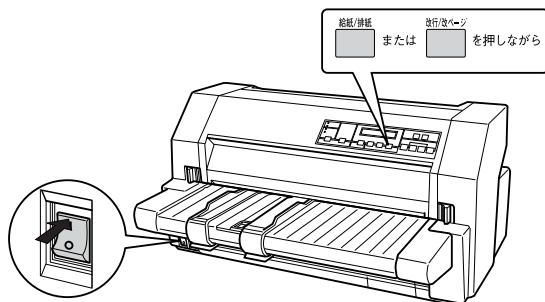
7. 動作の確認

プリンタが正常に動作するかどうかをプリンタ内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。

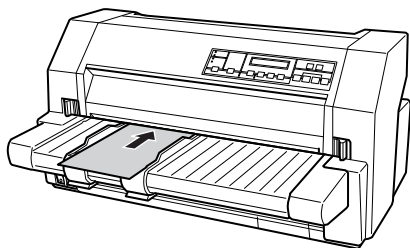
参考
動作の確認は連続紙を使用することもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
本書 32 ページ「連続紙の給紙と排紙」

1 **プリンタの電源を入れます。**

2 **［給紙方法］スイッチを押して［単票紙 / CSF1］を選択した後、電源を切ります。**

3 **エッジガイドのロックを外してから、エッジガイド位置を調整します。**
エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▶|）に合わせ、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせます。

4 **エッジガイドをロックします。**

5 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

［電源］ランプが点灯したら、［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを離してください。
［用紙チェック］ランプが点灯します。

6 **単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。**

エッジガイドに沿って単票紙を差し込みます。
単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

⚠注意

印刷中はプリンタカバーを開けないでください。カバーを開けると印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じます。

＜印刷結果例（一部抜粋してあります）＞

・漢字モード

・英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

参考

印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。用紙は手前に排紙されます。１枚目の印刷が終了し、続いて２枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

7 **[印刷可] スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。**

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

！注意

電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

8 **印刷結果を確認します。**

6 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に動作しています。

参考

手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターへご相談ください。
エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタドライバなどをインストールします。

8.プリンタドライバのインストール

Windows プリンタドライバやプリンタ監視ユーティリティ（EPSON プリンタウィンドウ !2、EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

!注意

Macintosh、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

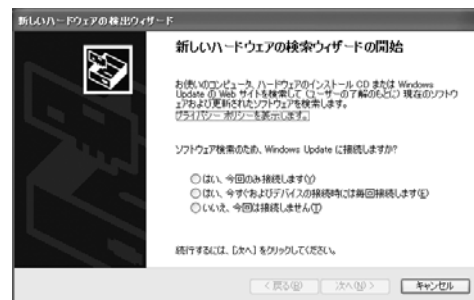
参考

- Windows 2000/XP(32bit) 環境でお使いの場合は、OS 標準搭載のプリンタドライバをプラグアンドプレイ機能またはプリンタの追加からインストールします。
- Windows XP(64bit) ではプリンタを検出すると、自動的に OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-6200］がインストールされますが、本製品同梱のプリンタドライバは［EPSON VP-6200 ESC/P］となります。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には［EPSON VP-6200 ESC/P］を選択してください。Windows XP(64bit) の仕様上、OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-6200］は削除せずにそのままの状態で使用してください。
- Windows Vista/7 では、OS 標準添付のプリンタドライバである［EPSON VP-6200］と、本製品同梱のプリンタドライバ［EPSON VP-6200 ESC/P］の 2 つがインストールされる場合があります。
  製品同梱のプリンタドライバのご使用をお勧めします。プリンタドライバのプロパティ画面を開くときや、印刷時には［EPSON VP-6200 ESC/P］を選択してください。
- EPSON プリンタウィンドウ !2 は、Windows 95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP(32bit) でご使用いただけます。
- EPSON ステータスモニタ 3 は、Windows XP(64bit)/Vista/7/8 でご使用いただけます。
- Windows 2000/XP(32bit)をお使いの場合は、OSに標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、本製品同梱の CD-ROM に収録されている EPSON プリンタウィンドウ !2 をインストールしてください。
- EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンタの接続形態は以下です。
  - パラレル接続でのローカルプリンタ
  - Windows 共有プリンタ
  - TCP/IP接続プリンタ（オプションのPRIFNW7を使用）
  双方向通信をサポートしていないコンピュータでは使用できません。
- Windows プリンタドライバを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !2/EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないようにしてください。

1 **プリンタの電源を切ります。**
指示があるまでプリンタの電源を入れないでください。

2 **Windows を起動します。**
管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考

以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

4 **［簡単インストール］をクリックします。**

上記の画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

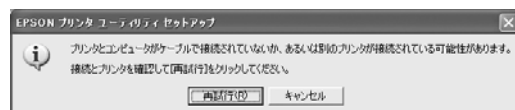
5 以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。

ソフトウェアのインストールが始まります。
［同意しない］をクリックした場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンタの電源を入れてください。

プリンタの接続先を設定します。

参考

6 の画面表示後、約３分経過してもプリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンタの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、［再試行］をクリックし、［手動設定］から接続しているポートを選択してください。

7 以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。

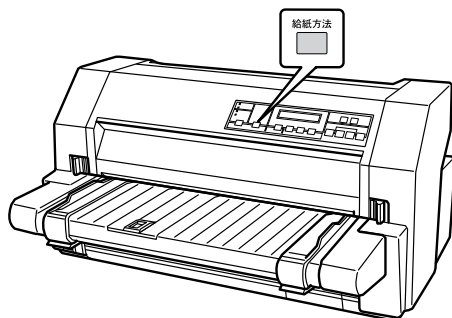
8 ［終了］をクリックします。

以上で終了です。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

本製品には以下のような給紙経路があり、操作パネル上の［給紙方法］スイッチを押すことにより、使用する用紙種類に応じた設定に切り替えます。

用紙種類		給紙経路	［給紙方法］ランプ （□：点灯、■：消灯）	給紙方法
連続紙	• 上質紙、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙） • 複写紙は最大9枚（オリジナル＋８枚）まで可 • 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可	排紙 給紙	□ 連続紙 ■ 単票 /CSF1 ■ 単票 /CSF2	リアプッシュトラクタから給紙します。
単票紙 ハガキ 封筒	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙または裏カーボン紙）、ハガキ、封筒※ • 複写紙は最大9枚（オリジナル＋８枚）まで可 • 単票ラベル紙は使用不可 ※ 裏カーボン紙 / ハガキ / 封筒は、用紙ガイドまたはカットシートフィーダー１から給紙します。 カットシートフィーダー2からは給紙できません。 また、横のり綴じ単票複写紙はカットシートフィーダーでは使用できません。	排紙 給紙	■ 連続紙 □ 単票 /CSF1 ■ 単票 /CSF2 （用紙番号を「0」にした場合）	用紙ガイドから用紙を手差し給紙します。
		給紙 排紙	■ 連続紙 □ 単票 /CSF1 ■ 単票 /CSF2	カットシートフィーダー１（オプション）から用紙を自動給紙します。
		給紙 排紙	■ 連続紙 ■ 単票 /CSF1 □ 単票 /CSF2	カットシートフィーダー２（オプション）から単票紙を自動給紙します。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

• 連続紙（連続複写紙）

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、 裏カーボン紙 （オリジナル＋8枚まで）
用紙幅 （台紙幅）	101.6 ～ 419.1mm（4.0 ～ 16.5 インチ）	
ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）	
用紙厚	0.065 ～ 0.19mm	0.13 ～ 0.59mm
用紙連量	45 ～ 135kg （坪量 52 ～ 157g/m^2）	34 ～ 70kg （坪量40～81.3g/m^2） （1 枚当たり）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

参考

プリンタドライバでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

① 用紙の横のサイズと縦（ミシン目とミシン目の間）を計ります。
② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 8inch ×縦 4.67inch の用紙とします）。
③ プリンタドライバの［用紙サイズ］リストから、8×4.67inchに合うサイズとして、「15×4　2/3inch」を選択します。プリンタドライバ上では、4.67inch を 4 2/3inch と分数で表現しています。
また、4inch 未満の縦サイズ、たとえば 3.3inch の場合、10inch（3 等分）のように、等分で表現しています。

• 連続ラベル紙

項目	ラベル紙
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 419.1mm （4.0 ～ 16.5 インチ）
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm （4.0 ～ 22.0 インチ）
推奨ラベルサイズ （横×縦）	63.5 × 23.9mm（2.5 × 0.94 インチ） 101.6×23.9mm（4.0×0.94インチ） 101.6×26.9mm（4.0×1.06インチ）
用紙厚 （台紙含む）	0.2mm 以下 （台紙との段差は 0.12mm 以下）

• 単票紙（単票複写紙）

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙 [*2]
品質		上質紙 [*1]、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙 [*3]（オリジナル＋ 8 枚まで）
用紙幅	用紙ガイド	92 ～ 420mm（3.6 ～ 16.5 インチ）	
	CSF1	100 ～ 420mm（3.9 ～ 16.5 インチ）	
	CSF2	148 ～ 420mm（5.8 ～ 16.5 インチ）	
用紙長	用紙ガイド	• 1 枚紙および天のり綴じの場合 90 ～ 420mm （3.5 ～ 16.5 インチ） • 横のり綴じの場合 90 ～ 297mm （3.5 ～ 11.7 インチ）	
	CSF1	92 ～ 420mm（3.6 ～ 16.5 インチ）	
	CSF2	182 ～ 420mm（7.2 ～ 16.5 インチ）	
用紙厚	用紙ガイド	0.065 ～ 0.26mm	0.13 ～ 0.59mm
	CSF1	0.065 ～ 0.19mm	
	CSF2		
用紙連量	用紙ガイド	45 ～ 180kg （坪量 52.3 ～ 209g/m^2）	34 ～ 70kg （坪量 40 ～ 81.3g/m^2） （1 枚当たり）
	CSF1	45 ～ 135kg （坪量 52.3 ～ 157g/m^2）	
	CSF2		

[*1]：本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
[*2]：横のり綴じ単票複写紙はカットシートフィーダーでは使用できません。
[*3]：裏カーボン紙は用紙ガイドまたはカットシートフィーダー 1 から給紙してください。カットシートフィーダー 2 からは給紙できません。
※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

参考

厚紙（連量 90kg 紙（紙厚 0.12mm）以上）の一枚紙を使用するときは、操作パネルで厚紙を設定してください。複写紙を使用するときは、厚紙設定が解除されていることを確認してください。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド	CSF1*1	CSF2*1*2
B4（257×364mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B5（182×257mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
B6（128×182mm）	縦長、横長	縦長、横長	－
A3（297×420mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A4（210×297mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
A5（148×210mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長
A6（105×148mm）	縦長、横長	縦長、横長	－

*1：横のり単票複写紙は使用できません。
*2：裏カーボン紙の複写紙は使用できません。
※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。

- **ハガキ**

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.23mm 以下	
用紙連量	165kg（坪量 191.5g/m^2）相当	

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	用紙ガイド	CSF1
通常ハガキ（100×148mm）	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ（148×200mm）	縦長、横長	縦長、横長

※ カットシートフィーダー（CSF）はオプションです。

- **封筒**

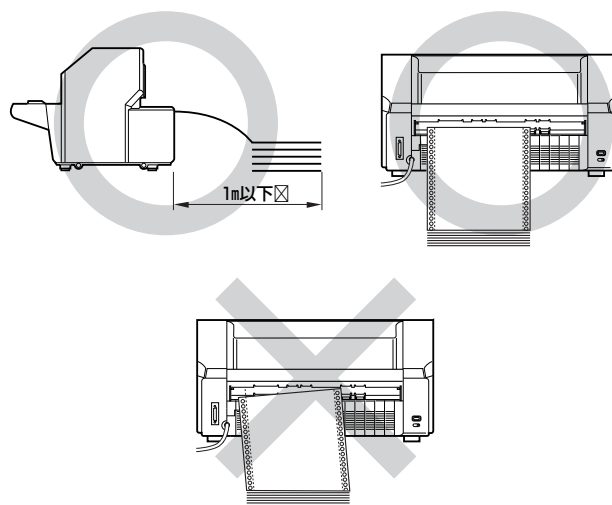
項目	詳細
品質	クラフト紙、ケント紙
用紙厚（総厚）	0.12 ～ 0.46mm

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「封筒」－「印字推奨領域と給紙方向」

連続紙の給紙と排紙

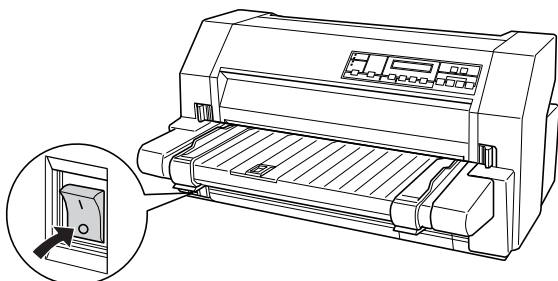
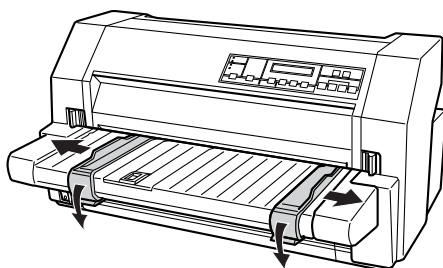
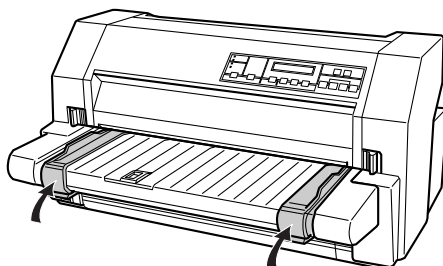
！注 意
印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンタの［電源］スイッチを入れたまま、用紙を引き抜かないでください。

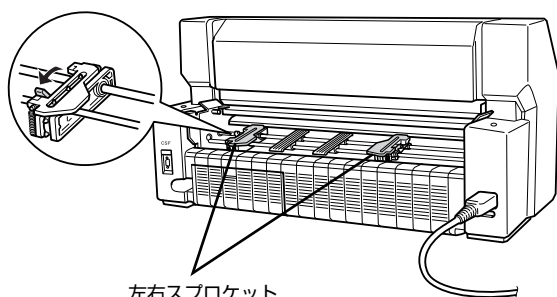
連続紙、連続ラベル紙はプリンタ背面のリアプッシュトラクタから給紙します。

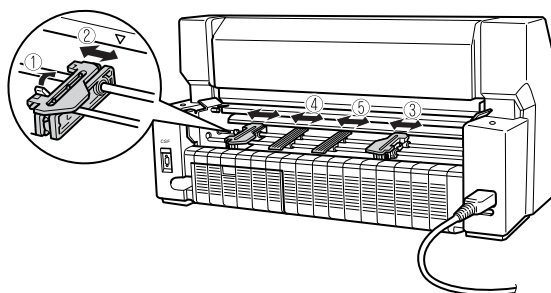
スムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

！注 意
プリンタケーブルやプリンタ台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

給紙

1 プリンタの電源が切れていることを確認します。

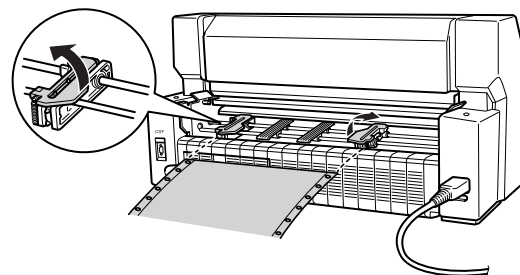
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 エッジガイドのロックを外してから、エッジガイドを左右いっぱいに広げます。

3 エッジガイドをロックします。

4 左右のスプロケットの固定レバーを解除します。

固定レバーは手前に倒すとロックが解除され、スプロケットが左右に動くようになります。

5 用紙のサイズに合わせてスプロケットの位置を調整します。

- 左側のスプロケットはプリンタに刻印されているガイドマーク▼に合わせ、固定レバーを押し下げてロックします。
- 右側のスプロケットは用紙の幅に合わせますが、まだロックしません。
- センターサポートは用紙の幅に合わせて均等に配置します。

参考

ガイドマーク▼は、印字開始位置を示します。
ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンとが異なっている場合は以下を確認してください。
① 用紙のセット位置を確認します。
　1 桁目の印字開始位置を▼印に合わせてください。
② ソフトウェアのマージン（余白）設定を確認します。
それでもマージンが異なる場合は、スプロケットの位置を再調整してください。

6 用紙をスプロケットにセットします。

- 左右のスプロケットカバーを開けます。
- 印刷する面を上にして用紙をセットします。
- 用紙両側のはじめの 3 つの穴をピンにはめます。
- 左右のスプロケットカバーを閉じます。

⚠注意

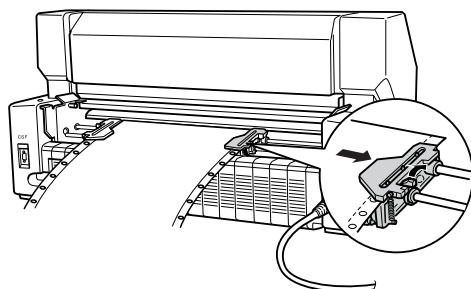
スプロケットカバーを閉じるときに指が挟まれないよう注意してください。

！注 意

用紙がまっすぐスムーズに給紙されるように次の確認をしてください。

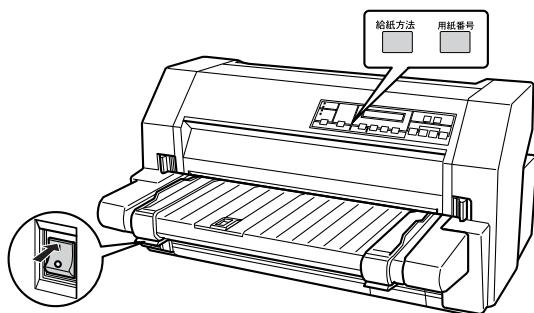
- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が左右両側で合っていること
- 用紙の端や穴の部分が折れたりよれていないこと
- ミシン目が切れかかっていないこと
- 用紙がたるんでいたり、張り過ぎていないこと

7 右スプロケットの位置を調整します。

右側のスプロケットを動かして用紙がたるんでいたり、強く張り過ぎない位置にして固定レバーを押し下げてロックします。

8 プリンタの電源を入れて、用紙番号と給紙方法を設定します。

［用紙番号］スイッチを押して用紙番号を「0」にするか、登録済みの連続紙の用紙番号を選択します。用紙番号「0」を選択した場合は、［給紙方法］スイッチを押して「連続紙」を選択します。

用紙番号の登録については、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「用紙登録ユーティリティ」

> **！注意**
> - 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
> - 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから用紙を取り除き、連続紙をセットし直してください。

> **参考**
> 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
> ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」－「操作パネルからの設定」

9 ［印刷可］ランプ（緑）が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。

> **参考**
> - 連続複写紙の複写紙枚数が 6 枚以上の場合は、印刷を始める前に［高複写］スイッチを押して［高複写］ランプ（緑）を点灯させます。
> - 印刷する前に、以下を設定してください。
>   - プリンタドライバ経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタドライバの設定」
>   - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更」

> **！注意**
> 印刷中にプリンタカバーを開けないでください。プリンタカバーが開くと、安全のために印刷が中断します。印刷を再開するにはプリンタカバーを閉じます。

紙ホチキス紙、ラベル紙

紙ホチキス紙

紙ホチキス紙（両側紙ホチキス綴じまたは片側点のり綴じ＋片側紙ホチキス綴じの連続複写紙）は、［紙ホチキス紙モード］を［オン］に設定してからセットしてください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンタ設定値の変更－「操作パネルからの設定」

セット・排紙方法は連続紙と同じです。

☞ 本書 32 ページ 「連続紙の給紙と排紙」

用紙の仕様について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 31 ページ 「印刷できる用紙」

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

> **参考**
> 紙ホチキス紙モードでは、印字速度が遅くなることがあります。

連続ラベル紙

連続ラベル紙を印刷するときはプリンタ背面のリアプッシュトラクタから給紙します。

セット方法は連続紙と同じです。以下のページを参照してください。

☞ 本書 33 ページ 「給紙」

排紙方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 36 ページ 「連続ラベル紙の排紙」

連続紙の排紙

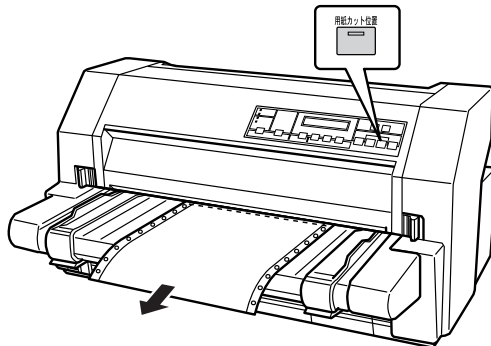
連続紙はプリンタの前面から排紙されます。

ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

1 ［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

液晶ディスプレイに「ヨウシヲ　キリハナシテクダサイ」と表示されます。

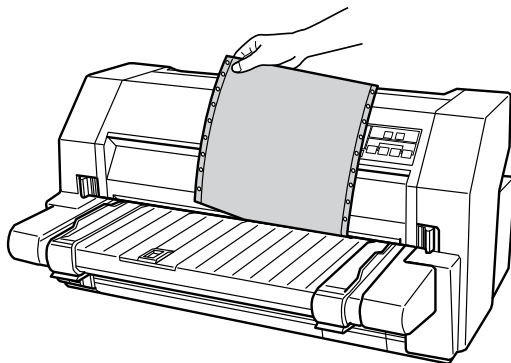
切断するミシン目がプリンタカバーのペーパーカッターとずれているときは、［微小送り▲］スイッチまたは［微小送り▼］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙カット位置の微調整（微小送り）」

参考

上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。
設定方法は PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」

2 ミシン目の位置で連続紙を切り離します。

ペーパーカッターで連続紙を切り離すことができます。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙を戻します。

電源を切るときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をリアプッシュトラクタ位置まで戻してください。連続紙を給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

連続ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず改ページをして、プリンタ前面から排紙してください。ティアオフ機能（[用紙カット位置］スイッチまたは［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

！注 意

［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてラベル紙をプリンタ後方より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はプリンタ前面から排紙してください。

印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙をプリンタ後方で切り離し、［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンタ前方より排紙します。

単票紙の給紙と排紙

！注 意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンタの［電源］スイッチを入れたまま、用紙を引き抜かないでください。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

単票紙は、用紙ガイドからの手差し給紙（1 枚ずつ）と、カットシートフィーダー（オプション）からの連続給紙ができます。カットシートフィーダーの取り付け、給紙方法は、PDF マニュアルの以下のページを参照してください。

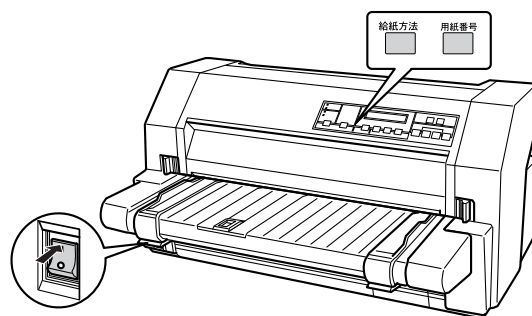
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」

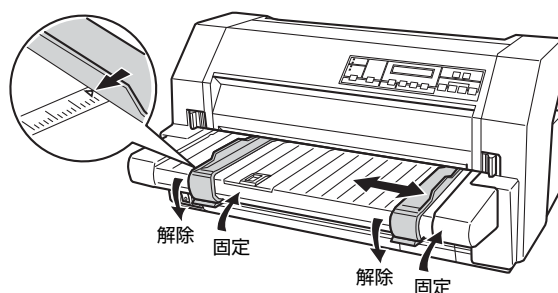
単票紙

1 **プリンタの電源を入れて、用紙番号と給紙方法を設定します。**

［用紙番号］スイッチを押して用紙番号を「0」にするか、登録済みの単票紙の用紙番号を選択します。用紙番号「0」を選択した場合は、［給紙方法］スイッチを押して「単票 /CSF1」を選択します。

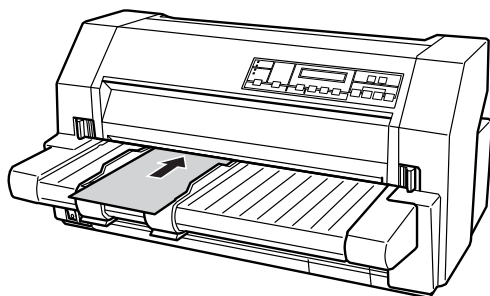
用紙番号の登録については、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「用紙登録ユーティリティ」

2 **エッジガイドを調整します。**

左側エッジガイドはロックを解除してガイドマーク（▶|）に合わせロックを固定します。右側のエッジガイドはロックを解除して使用する用紙の幅に合わせてロックを固定します。

参考

左エッジガイドの位置によって印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと印刷結果の左マージンが異なっているときは、エッジガイドの位置を再調整してください。

3 **単票紙を手差し給紙します。**

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。約 1 秒後に用紙は自動的に給紙位置にセットされます。

参考

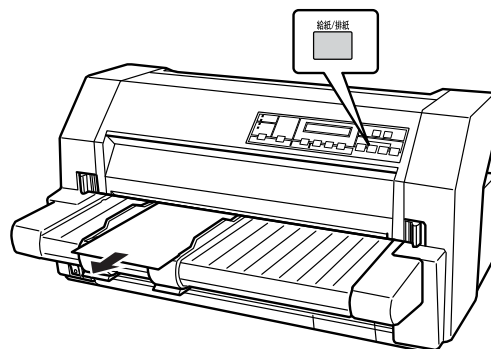
- セットした用紙が印刷されずに排紙される場合があります。液晶ディスプレイに「カタムイテ　キュウシシマシタ」と表示されたときは、エッジガイドに沿って用紙をまっすぐに給紙し直してください。
- 用紙ガイドから給紙する場合、給紙が始まるまでの時間を設定することができます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) −「プリンタ設定値の変更」−「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、プリンタ設定値を変更して給紙位置を調整します。
  ☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) −「プリンタ設定値の変更」−「操作パネルからの設定」
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

4 **[印刷可] ランプ (緑) が点灯していることを確認し、印刷データを送ります。**

参考

単票複写紙の複写紙枚数が 6 枚以上の場合は、印刷を始める前に [高複写] スイッチを押して [高複写] ランプ (緑) を点灯させます。

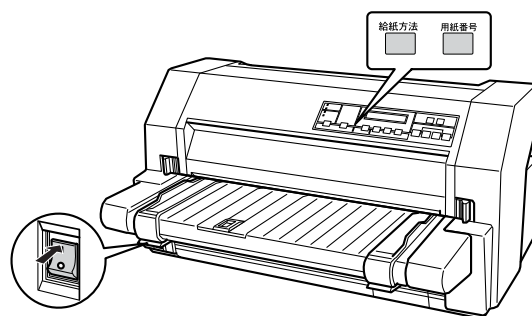
5 **印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

封筒、ハガキ

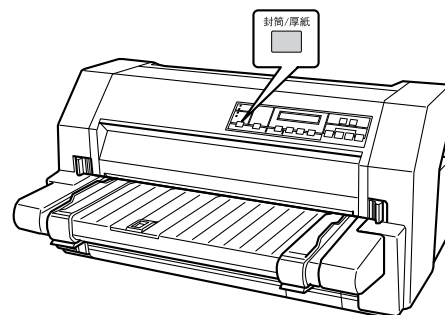
1 **プリンタの電源を入れて、用紙番号と給紙方法を設定します。**

[用紙番号] スイッチを押して用紙番号を「0」にするか、登録済みの封筒またはハガキの用紙番号を選択します。用紙番号「0」を選択した場合は、[給紙方法] スイッチを押して「単票 /CSF1」を選択します。

用紙番号の登録については、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) −「Windows からの印刷」−「用紙登録ユーティリティ」

2 **[封筒 / 厚紙] スイッチを押して、ハガキモード、または封筒モードの設定をします。**

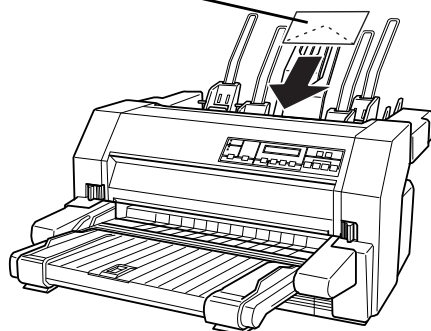
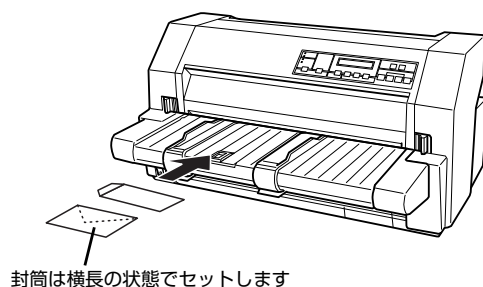
封筒を使用するときは、「封筒」を選択します。

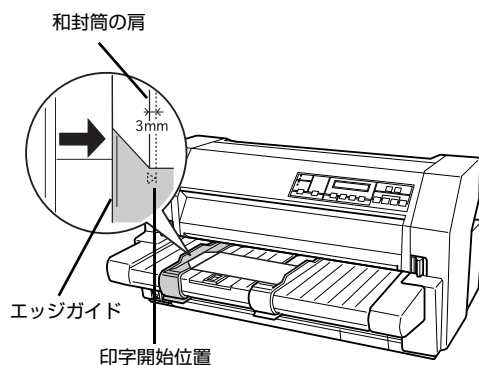
ハガキを使用するときは、「厚紙」を選択します。

参考

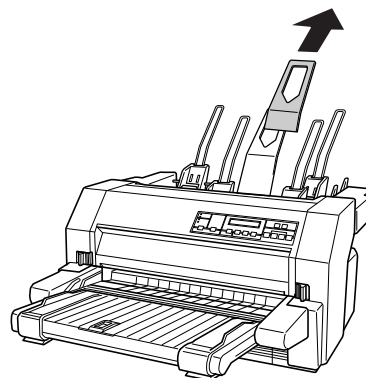
封筒（長形・角形）を用紙ガイドから給紙する場合は、封筒が給紙できずに液晶ディスプレイに「カタムイテ　キュウシシマシタ」と表示されることがあります。この場合は、左エッジガイドの位置をフラップ長さ分だけガイドマーク（ ▶| ）より左に移動します。右エッジガイドは封筒の長さに合わせてください。

3 **用紙ガイドまたはカットシートフィーダーにハガキまたは封筒をセットします。封筒は横長でセットします。**

印刷面を上に向けて、先端が奥に当たるまで差し込みます。ハガキ・封筒は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

封筒は横長の状態でセットします

!注意

和封筒の表面に印字する場合は、印字開始位置が封筒の肩（フラップ部を除いた位置）から 3mm の場所になるように、エッジガイドの位置を調整してセットしてください。

参考

- ハガキをカットシートフィーダーにセットする場合は、センターサポートを取り外し、カットシートフィーダーのエッジガイドをハガキの幅に合わせて使用してください。

- 一部の封筒（長形 4 号、長形 3 号、角形 3 号、角形 2 号）は、カットシートフィーダーからは給紙できません。

4 **印刷が終了するとハガキ・封筒は自動的に排紙されます。**

プリンタ内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

連続紙と単票紙の切り替え

リアプッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙と単票紙を切り替えて給紙することができます。

参考
プリンタドライバで給紙装置を選択している場合は、以下の操作をしなくても、自動的に選択されている給紙装置に切り替わります。

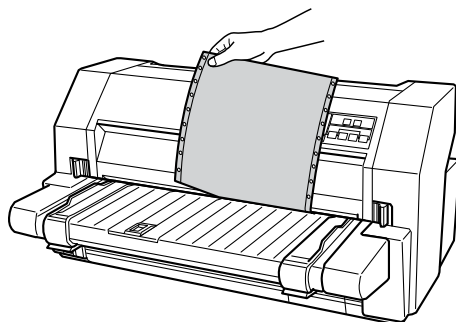
連続紙から単票紙への切り替え

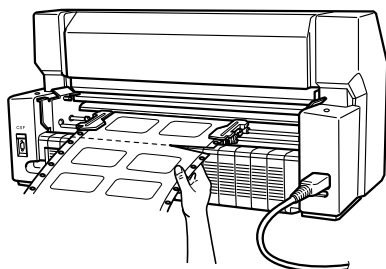
参考
連続紙の先端がリアプッシュトラクタの位置にある場合は、4 から進めてください。

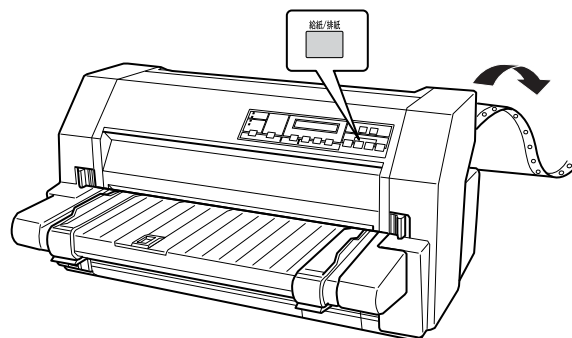
1 連続紙の印刷が終了したら、[用紙カット位置] スイッチを押します。

液晶ディスプレイに「ヨウシヲ　キリハナシテクダサイ」と表示されます。

2 連続紙をミシン目で切り離します。

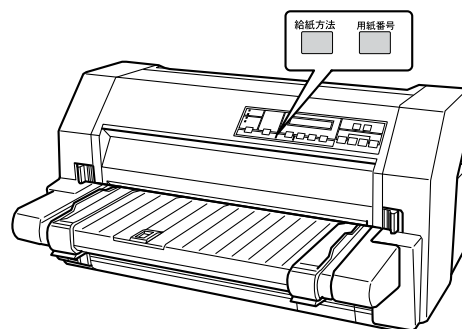
ペーパーカッターでミシン目を切り離します。

！注意

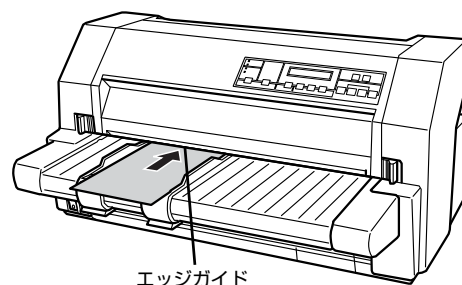
- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能、[給紙 / 排紙] スイッチを使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こします。リアプッシュトラクタの位置で給紙前のラベル紙を切り離し [改行 / 改ページ] スイッチで排紙します。再びラベル紙を使用するときは、リアプッシュトラクタにセットし直してください。

3 [給紙 / 排紙] スイッチを押します。

セットした連続紙はリアプッシュトラクタの位置まで逆に戻ります。リアプッシュトラクタから外す必要はありません。

4 用紙番号と給紙方法を設定します。

[用紙番号] スイッチを押して用紙番号を「0」にするか、登録済みの単票紙の用紙番号を選択します。用紙番号「0」を選択した場合は、[給紙方法] スイッチを押して「単票 /CSF1」を選択します。「単票 /CSF2」はオプションのカットシートフィーダーがセットされている場合にのみ、選択することができます。

用紙番号について詳しくは、以下のページを参照してください。

『取扱説明書　詳細編』(PDF マニュアル) －「Windows からの印刷」－「用紙登録ユーティリティ」

5 エッジガイドを使用する単票紙に合わせ、エッジガイドに沿って用紙を差し込みます。

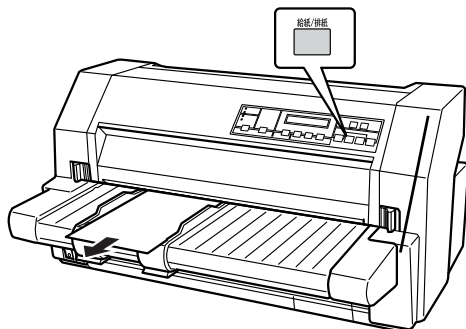
用紙を差し込んでから約 1 秒後に、用紙は自動的に給紙されます。

参考
液晶ディスプレイに「カタムイテ　キュウシシマシタ」と表示され用紙が排紙されたときは、エッジガイド位置を用紙幅に合わせ、給紙し直してください。

6 **印刷を実行します。**

印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

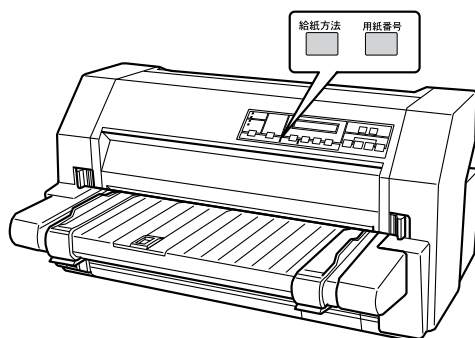
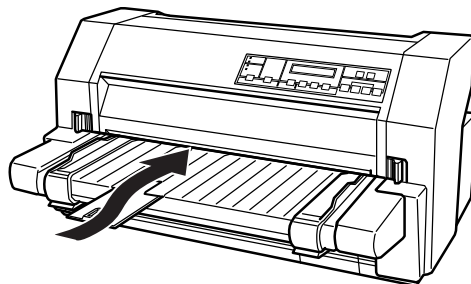
1 **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**

印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2 **［用紙チェック］ランプが点灯しているときは、［印刷可］スイッチを押してエラーを解除します。**

3 **給紙方法と用紙番号を設定します。**

［用紙番号］スイッチを押して用紙番号を「0」にするか、登録済みの連続紙の用紙番号を選択します。用紙番号「0」を選択した場合は、［給紙方法］スイッチを押して「連続紙」を選択します。

用紙番号について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「用紙登録ユーティリティ」

4 **用紙サポートが引き出されている場合は、元の位置に戻します。**

5 **印刷を実行します。**

印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

連続紙は自動的に給紙され、印刷します。

> **！注 意**
>
> 印刷データを送る前にリアプッシュトラクタに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

⚠注意
プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

連続紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **印字が完了している連続紙と給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。**

3 **リアプッシュトラクタのスプロケットカバーを開け、用紙を外します。**

4 **用紙の両端をつかんでゆっくりと前に引き抜きます。**
プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。
☞ 本書 41 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

5 **連続紙をリアプッシュトラクタにセットし直します。**
☞ 本書 32 ページ 「連続紙の給紙と排紙」

単票紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切り、プリンタカバーを開けます。**

2 **用紙の両端をつかんでゆっくりと前に引き抜きます。**
プリンタ内部に用紙が残ったときは、次のページを参照してください。
☞ 本書 41 ページ「プリンタ内部に用紙が残ったときは」

3 **プリンタカバーを閉じます。**

4 **単票紙をセットし直します。**
☞ 本書 36 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

プリンタ内部に用紙が残ったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **リボンカートリッジを取り外します。**
☞ 本書 43 ページ 「リボンカートリッジの交換」

3 **プリンタの電源を入れてから、プリンタカバーを開けます。**

4 **［微小送り］スイッチを押し、残った用紙を取り除きます。**
［微小送り▼］スイッチを押すと用紙は用紙ガイド側に送られます。
［微小送り▲］スイッチを押すと用紙はリアプッシュトラクタ側に送られます。

5 **プリンタの電源を切ります。**

6 **リボンカートリッジを取り付け、プリンタカバーを閉じます。**
☞ 本書25ページ「6.リボンカートリッジの取り付け」

カットシートフィーダーで用紙が詰まったときは

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **用紙セットレバーを前に倒し、用紙を取り除きます。**
セットされている印刷前の用紙を取り除きます。

3 **詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。**
用紙が見えないときは、カットシートフィーダーを取り外してから用紙を引き抜きます。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」－「取り外し方」
プリンタ内に用紙が残ったときは、前項を参照してください。

4 **カットシートフィーダーをプリンタに取り付けてから、用紙をセットし直します。**
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「オプションと消耗品」－「カットシートフィーダー」－「取り付け方」

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 31 ページ 「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
☞ 本書 32 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
☞ 本書 36 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
☞ 本書 39 ページ 「連続紙と単票紙の切り替え」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダーに用紙をセットするときはセットされている用紙をすべて給紙してから新しい用紙をセットしてください（用紙の追加は重送* の原因となります）。

* 重送：　カットシートフィーダーからの給紙で複数枚の紙を送ってしまうこと

- 連続ラベル紙を使用する場合は、プリンタ背面のリアプッシュトラクタから給紙します。
☞ 本書 32 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れがないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

- リボンカートリッジは純正品（型番：VP5150RC）のご使用をお勧めします。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンパック（型番：VP5150RP）は、リボンカートリッジ（型番：VP5150RC）内部のリボンだけを交換するものです。
  １つのカートリッジにつき４回までリボン交換ができます。
- プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

！注意 プリンタの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

以下の手順でリボンカートリッジを交換します。

1 プリントヘッドが中央のリボンカートリッジ交換位置にあることを確認します。

プリントヘッドが端にあるときは、プリンタカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドが自動的にリボンカートリッジ交換位置に移動します。

！注意

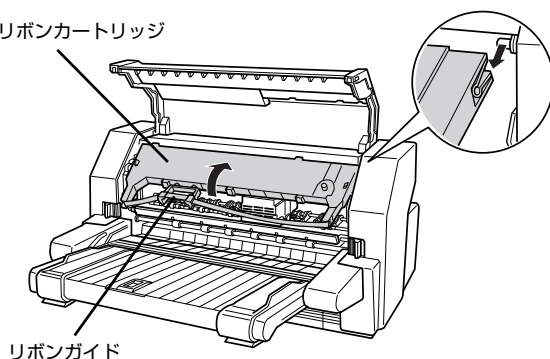
電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンタの電源部が故障するおそれがあります。

2 プリンタの電源を切ります。

⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

3 左右のカバーロックボタンを外側にスライドさせて、プリンタカバーを開けます。

4 リボンガイドをプリントヘッドから外し、リボンカートリッジのピンに差し込んでから、リボンカートリッジを両手で手前に引くようにして外します。

印字が薄くなったときは、リボンカートリッジのインクリボンを交換することができます。

5 新しいリボンカートリッジを用意します。

6 リボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジの取り付けについて詳しくは、以下のページを参照してください。

本書25ページ「6.リボンカートリッジの取り付け」

参考

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンタを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンタ本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 ［電子マニュアルを見る］をクリックします。

3 ［VP6200UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダへコピーします。

各種サービス･サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス･サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOS、Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0、Macintoshでの操作方法などを説明した補足説明書のPDFデータは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013年2月現在）。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDFマニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターへお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td><td rowspan="3">エプソン
サービスコール
センター</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料 ＋ 技術料 ＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td><td>エプソン
修理センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td><td>ドア to ドア
サービス受付電話</td></tr>
</table>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応　：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON VP-6200

セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070
・鳥取修理センター：0857-77-2202　・福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。
＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101）でお買い求めください。（2013年1月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM）　2013. 01